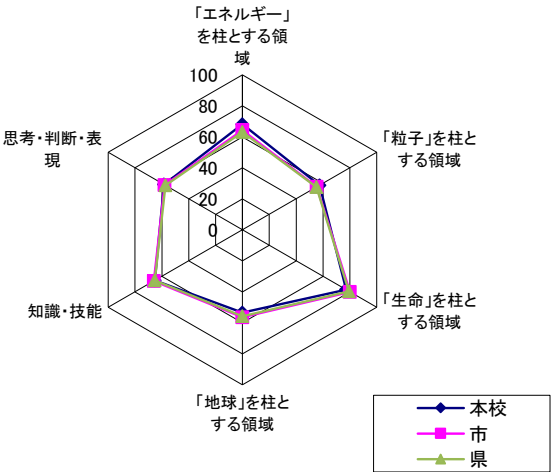


宇都宮市立豊郷南小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	68.2	64.3	63.2
	「粒子」を柱とする領域	57.5	55.4	55.1
	「生命」を柱とする領域	77.3	80.1	79.3
	「地球」を柱とする領域	53.4	56.4	55.8
観点	知識・技能	65.3	66.0	65.3
	思考・判断・表現	58.4	57.9	57.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
「エネルギー」を柱とする領域	・領域の正答率は、68.2%と市の平均と同程度である。 ○乾電池の名称とつなぎ方に関する設問の正答率は74.8%で、市よりも7.5ポイント高い。 ○電流の大きさと向きを問う設問の正答率は71.7%で、市よりも6.2ポイント高い。	・直列や並列についてや電池の向きによって流れる電流の向きが変わることについては、図解等で電気の流れをイメージしやすくし、理解できるようにする。 ・簡易検流計など道具を用いて実験するなど、体験的に学ぶ機会が少ないことから、上記の機会を増やして学習すること、そしてその様子を絵や図、表などにまとめる機会を設け、仕組みや原理が身に付けられるようにする。
「粒子」を柱とする領域	・領域の正答率は、57.5%と市の正答率と同程度である。 ○とじこめた空気と水の性質を身近な出来事と関連付けられることができるかの設問の正答率は50.5%で、市よりも16ポイント高い。 ●湯気と水蒸気の違いについて問う設問の正答率は22.2%で、市よりも6.6ポイント低い。	・水の状態変化について実験したり動画で確認したりすることで理解を深めていく。
「生命」を柱とする領域	・領域の正答率は、77.3%と市の正答率と同程度である。 ○関節について理解しているかについての設問の正答率は90.9%と高く、市よりも3.6ポイント高い。 ●骨のはたらきについて理解しているかについての設問の正答率は31.3%で、市よりも13.2ポイント低い。	・身の回りにある自然現象に興味をもって学習に取り組むことができるように、児童が自分で疑問をもつことができるような導入をする。 ・予想を立てたり、結果から考察したりと、自分の言葉で説明する活動を充実させる。
「地球」を柱とする領域	・領域の正答率は、53.4%と市の正答率と同程度である。 ○雨天時の気温の変化を表したグラフを見つけ、選んだ理由を記述する設問の正答率は67.7%で、市よりも2ポイント高い。 ●空気中の水蒸気が冷やされると結露して液体の水になることを、窓に付いた水滴と関連付けて考えることができるかの設問の正答率は24.2%で、市よりも6.3ポイント低い。	・日頃の生活や自己の経験、見聞などと関連付けながら、児童の興味関心を高め、授業外でも意識して天体や天候などに触れることができるようにしていく。 ・身の回りにある自然現象に興味をもって学習に取り組むことができるように、視聴覚教材を使って児童の興味関心を高め、実感をもって理解ができるようにする。